

# 立命館守山中学校・高等学校PTA会則

## 第 1 章 総 則

(名 称)

第1条 本会は、立命館守山中学校・高等学校PTAと称する。

(所在地)

第2条 本会の事務局を立命館守山中学校・高等学校（以下「本校」という。）内におく。

(目 的)

第3条 本会は、本校生徒の健全な成長をはかるため、保護者と学校の連絡を密にし、学校および家庭教育に関する理解を深め、併せて会員相互の教養を高めることを目的とする。

(事 業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 生徒の学力と徳性ならびに福祉増進および心身の健全なる発達をはかること。
- (2) 教育環境の整備充実に関すること。
- (3) 生徒会活動の助成に関すること。
- (4) 教師の任務の重要性を認めて、その研究・修養を援助すること。
- (5) 学校内外における生徒指導安全教育等に関すること。
- (6) 会員相互の教養を高め親睦をはかること。
- (7) 本会の広報に関すること。
- (8) その他本会の目的達成に必要な事業。

## 第 2 章 組 織

(会 員)

第5条 本会の会員は、本校生徒の保護者またはこれに代わる者（後見人）ならびに本校教職員とする。

(役 員)

第6条 本会の役員は次の通りとする。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副 会 長 若干名
- (3) 会 計 2名
- (4) 庶 務 若干名
- (5) 書 記 若干名
- (6) 会計監査 2名
- (7) 学級委員 若干名（各クラス）

(役員の仕事)

第7条 役員の仕事は次の通りとする。

- (1) 会 長 本会を代表し、会務を総括する。
- (2) 副 会 長 会長を補佐し、会長に事故あるときはこれに代わる。
- (3) 会 計 本会の会計事務を司る。
- (4) 庶 務 本会の庶務を司る。
- (5) 書 記 本会の会議の議事を記す。
- (6) 会計監査 本会の会計監査を行う。
- (7) 学級委員 学年委員会および専門委員会の事業活動にあたる。

(役員の任期)

第8条 役員の任期は1ヵ年とする。ただし、再任は妨げない。

(役員の選出)

第9条 会長、副会長、会計、庶務、書記、および会計監査の選出は、役員候補選出委員会において選出された役員候補者について、会員の信任投票により有効投票の過半数をもって選出される。

2 学級委員の選出は、各学級から若干名を選出し、会長が委嘱する。

(会議の種類)

第10条 本会に次の会議をおく。

- (1) 総会
- (2) 本部役員会
- (3) 常任委員会
- (4) 学年委員会
- (5) 専門委員会
- (6) 役員候補選出委員会

2 本会における相談役について

(1) 役員候補選出委員会において必要と判断されたときに、直前の本部役員会（新年度本会会員であるかどうかを問わない）の中から本会の相談役を選出することができる。

(2) 相談役として選出を受けた者の任期は当該年度内とする。

(総 会)

第11条 総会は本会の最高議決機関で、全会員をもって構成する。

2 総会は会長が招集し、年1回開催する。ただし、会長が必要と認めたとき、臨時総会を開催することができる。

3 総会は、委任状を含め会員の過半数をもって成立する。

4 議決は、委任状を含め会員の過半数の賛成を要する。なお、賛否同数のときは議長がこれを決定する。

5 総会は次の事項を審議・決定し、議長は会長が指名する。

- (1) 会則の改廃に関すること。
- (2) 事業および予算、決算に関すること。
- (3) その他重要な事項。

(本部役員会)

第12条 本部役員会は、会長、副会長、会計、庶務、および書記（以下「本部役員」という。）をもって構成する。

2 本部役員会は会長が必要と認めたとき招集し、開催する。

3 本部役員会は次の事項を審議・決定し、会長が議長になる。

- (1) 常任委員会に提出する議案に関すること。
- (2) P T A活動の執行に関すること。
- (3) その他重要な事項。

(常任委員会)

第13条 常任委員会は、本部役員、学年委員長および副委員長、専門委員長および副委員長をもって構成する。

2 常任委員会は会長が必要と認めたとき招集し、開催する。

3 常任委員会は次の事項を審議・決定し、議長は会長が指名する。

- (1) 総会に提出する議案に関すること。

- (2) P T A活動の執行に関すること。
- (3) その他重要な事項。

(学年委員会)

- 第14条 学年委員会は各学年の学級委員をもって構成し、委員の互選により委員長および副委員長をおく。なお、各学年委員会の人数は、別に定める。
- 2 学年委員会は、学級と連携をはかりながら、学年に係る事業活動を行う。
  - 3 学年委員会は委員長が招集し、開催する。

(専門委員会)

- 第15条 本会の事業を円滑に行うため、次の専門委員会をおき、各学年の学級委員をもって構成し、委員の互選により委員長および副委員長をおく。なお、各専門委員会の人数は、別に定める。
- (1) 広報委員会
  - (2) 文化委員会
  - (3) 教養委員会
  - (4) 行事委員会
- 2 専門委員会の委員は、学年委員会の委員を兼務することはできない。ただし、前条第2項に定める事業について学年委員から依頼があった場合は、当該学年の事業を支援する。
- 3 専門委員会は委員長が招集し、開催する。

(広報委員会)

- 第16条 広報委員会は、学校と連携をはかりながら、広報活動を行う。

(文化委員会)

- 第17条 文化委員会は、会員相互の文化活動、および校外における生徒指導、安全教育などの活動を行う。

(教養委員会)

- 第18条 教養委員会は、会員相互の教養を高め、親睦をはかる活動を行う。

(行事委員会)

- 第19条 行事委員会は、学校と連携をはかりながら、学校行事や事業等の支援活動を行う。

(役員候補選出委員会)

- 第20条 役員候補選出委員会は、本部役員および学年委員長をもって構成する。
- 2 役員候補選出委員会は、次年度の本部役員および会計監査の役員候補を選出する。
  - 3 役員候補選出委員会は会長が招集し、開催する。
  - 4 役員候補選考の方法は、別に定める。

## 第 3 章 経 理

(経 費)

- 第21条 本会の経費は、会費、寄付金、その他の収入をもってこれにあてる。

(会 費)

- 第22条 本会の会費は、1世帯につき、年額5,000円とする。

(会費の減免)

- 第23条 家庭の事情によっては、常任委員会の審議によって、会費の全額を免除または減額することができる。

- 2 学年の途中において、生徒が転入学、休学、復学、退学、または転学したときの会費は月割り計算とし、その事実が生じた月の会費は納入しなければならない。+

(会計年度)

第24条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

付 則

本会則は、昭和57年5月14日から実施する。

本会則は、平成2年4月2日から適用する。

本会則は、平成7年6月2日から適用する。

本会則は、平成9年4月1日から適用する。

本会則は、平成18年4月1日から施行し、平成18年5月14日より適用する。

(設置者移管にともなう規定改正)

本会則は、2007年4月1日から施行し、2007年5月12日より適用する。

本会則は、2008年4月1日から施行し、2008年5月24日より適用する。

本会則は、2009年4月1日から施行し、2009年5月23日より適用する。

本会則は、2011年4月1日から施行する。

本会則は、2012年5月26日から施行する。

本会則は、2013年5月25日から施行する。

本会則は、2014年4月1日から施行する。

本会則は、2017年4月1日から施行する。

本会則は、2021年4月1日から施行する。

本会則は、2022年12月26日から施行する。

本会則は、2025年5月30日から施行する。

## 役員候補選出規程

第1条 立命館守山中学校・高等学校PTA会則 第20条第4項の規定により、円滑に役員を選出することを目的として本規程を定める。

第2条 役員候補選出委員会（以下「委員会」という。）に委員の互選により委員長をおく。

第3条 委員会は、次年度の本部役員および会計監査（以下「役員」という。）の選出にあたり、会員に役員の立候補について告知を行う。

第4条 委員会は、役員の立候補がある場合、立候補者を選考し、役員候補者を選出する。なお、選考の方法は、委員会において決定する。

第5条 委員会は、役員の立候補がない場合、役員候補者を選出する。

## 役員候補選出規程細則

### 1 会長選出について

- ・会長候補の選出は新年度高校2年生までの会員から選考することが望ましい。
- ・会長職の再任は妨げないが、特別な理由がなければ最長3年で交代とする。

### 2 本部役員の留任規定

- ・会則第6条（1）（2）（3）（4）（5）に規定される本部役員の留任は、特別な理由がなければ役職を問わず連続4年までとする。

### 3 本部役員・会計監査経験者の免除規定

- ・会則第6条（1）（2）（3）（4）（5）に規定される本部役員および（6）に規定され

る会計監査を経験した者は、下記要領にて役員の免除を希望することができる。

【必要条件】役職を問わず連続2年かつ5分の4以上の会議出席が認められるとき

【免除期間】兄弟姉妹の在籍を問わず退任後の希望する期間

【免除範囲】学級委員を含め、会則第6条に規定される全ての役職

#### 4 学級委員経験者の免除規定

- ・会則第6条（7）に規定される学級委員を経験した者は、下記要領にて役員の免除を希望することができる。

【必要条件】担当委員を問わず1年かつ3分の2以上の会議出席が認められるとき

【免除規定】中学校で学級委員をした者は、中学校在学中は免除とする

高等学校で学級委員をした者は、高等学校在学中は免除とする

中学と高校の免除は別々に適用される

兄弟姉妹がいる場合、それぞれの生徒ごとに適用され他の生徒には影響しない

【免除範囲】学級委員

#### 5 免除規定の位置づけ

上記3および4の定める規定の利用は任意であり、留任は妨げない。

#### 付 則

この細則は、2022年12月26日より施行する。

この細則は、2025年5月30日より施行し、2025年4月1日より適用する。

### 立命館守山中学校・高等学校PTA慶弔（弔慰）規程

- この立命館守山中学校・高等学校PTA慶弔（弔慰）規程は、会員相互の親睦を図ることを目的とした会則に則るものとする。
- 会員（保護者および教員）中に、会員および生徒に死亡等の弔慰該当事項があったときは、PTA名義により弔慰金 10,000 円を基準に弔意を表すものとする。但し、遺族より辞退の申し入れがあった場合はこの限りではない。
- 前の各項に該当しない弔（慶）事については、本部役員会において、社会通念上、必要と認めた場合は、適当な金額を持って弔（慶）の意を表するものとする。
- 支出については、PTA会計の慶弔費をもってこれにあてる。
- 慶弔金に対する返礼は受けないものとする。
- ※この規程は、2019年5月25日より有効とする。
- ※この規程は、2022年12月26日より有効とする。